

アミオダロン注 投与の手引き

2025.11

開始時は必ず薬剤師に投与速度・組成
などの確認をしてください！！

クリニカルデスクトップにセットオーダーあり！（心停止無し）
「病院」→「救急」→「アミオダロン（難治性不整脈）」

アミオダロン注1A=150mg／3mL

1.心室細動、血行動態不安定な心室頻拍で難治性かつ緊急を要する場合

1)初期急速投与 : ~ : まで投与する

アミオダロン注**125mg (2.5mL)**を5%ブドウ糖100mLに溶かす。 ※生食と配合不可

これを**10分間**で落としきる。（全開、600mL/h=10mL/min）

※輸液ポンプの性能上600mL/hが不可な場合は最大速度で投与

2)負荷投与 : ~ : まで投与する

アミオダロン注**750mg (15mL)**を5%ブドウ糖液**500mL**に加える。

輸液ポンプを用い**33mL／時**の速度で**6時間**投与する。（合計198mL）

3)維持投与 : ~ : まで投与する

17mL／時の速度で合計**42時間**投与する。

①残液を**17mL／時**に投与速度を変更し、**18時間**投与する。（合計306mL）

②アミオダロン注**750mg (15mL)**を5%ブドウ糖液500mLに加え、輸液ポンプで

17mL／時の速度で**24時間**投与する。（合計408mL）

2.電氣的除細動抵抗性の心室細動あるいは無脈性心室頻拍による心停止

アミオダロン注**300mg (2A/6mL)**を5%ブドウ糖液14mLに加え合計20mLとし、
静脈内へボラス（ワンショット）投与する。

《追加投与》

心室性不整脈が持続する場合は、150mg（1A/3mL）を5%ブドウ糖液7mLに加え合計10mLとし、
追加投与（ワンショット）する。